

人権問題啓発DVD一覧

1/3

番号	題 名	制作年	時間	内 容
1	共に働く ～私たちも職場の戦力～	平成19年	45分	障害者雇用啓発番組収録・障害者雇用支援制度解説
2	公正採用選考のこころ	平成21年	25分	採用選考における人権意識のあり方を考えるための素材として、また、女性への偏見や、年齢を問わない採用、部落差別問題など採用選考担当者にとって採用選考のための情報を幅広く取り上げています。
3	内定者からの手紙 公正な採用選考のために	平成21年	26分	公正な採用選考の基本となる人権尊重の意識が、採用選考のプロセスのすみずみまで、さらに会社全体まで広くいきわたることの重要性をテーマに作成された作品です。
4	どうしてそんなこと聞くの 公正な採用選考のために	平成22年	27分	エントリーシートのあり方を考えることをきっかけに、採用選考担当者にとって必要十分な、公正採用選考のための情報を紹介している作品です。
5	本当の出会いのために ～エントリーから始まる公正採用選考～	平成23年	27分	エントリーから筆記試験、面接といった一連の流れの中で、いかにして受験者の基本的人権を守り、企業にとっても受験者にとっても望ましい採用選考のあり方が実現できるかを提起している作品です。
6	だれにでも開かれていますか？ ～公正な採用選考を求めて～	平成24年	28分	就職における採用選考は、応募者の人生を左右しかねないとても重要な機会です。採用する側も、応募者の基本的人権を尊重し、公正な採用選考をすることが求められます。採用する側が門戸を狭め、特定の人に絞った採用を志向するようなことになれば、応募者の職業選択の自由を侵すことになります。 この作品は、採用選考において企業が門戸を広く開き、人権に対する感覚を高めていくことが非常に重要であるという視点で、公正な採用選考を進めるための啓発教材として制作いたしました。
7	みんなで語ろう！ ～公正な採用選考～	平成25年	26分	企業の人事部門の担当者にとって、公正な採用選考の知識とそれを具現化する技能は体得しておくべきものです。公正な採用選考について知っているつもりでも、その基本的な考え方を改めて学ぶことは、人事採用における更なるスキルアップにつながります。 この作品では、職場でありがちな採用選考に関わる事例を短くとりあげ、その事例から考えるべき公正採用選考の基本的な考え方を学ぶものです。悩める3人の採用担当者が、講師のレクチャーを受けながら考え、学び、語り合うスタイルで、分かりやすく公正な採用選考を読み解いていきます。
8	なぜ企業に人権啓発が必要なのか	平成26年	22分	企業にとっての人権啓発とは何なのでしょう？ 具体的な人事課題を並べてみましょう。頭では、差別や偏見なく、人権に配慮して行動しなければいけないと知っているとは思いますが、では、自分の日々の業務の中で、何ができるのでしょうか。 この教材は、人権啓発を考えるためのヒントを、企業を舞台に日常の会社生活の一コマを切り取ったわかりやすいドラマとして構成し、あらためて考えていただくための教材としてご活用いただけるよう制作しました。
9	フェアな会社で働きたい	平成27年	25分	企業がさまざまなステークホルダーの基本的人権を尊重することは、現代の企業にとって必須のことであり、また、そのための社員教育も重要になっています。しかし、社員が人権について具体的に自分のことととらえることは、難しいことでもあります。 この作品は、人事部の新入社員の体験をドラマにして、公正な採用選考をはじめとする企業における人権のあり方について学ぶ内容。
10	人権啓発は企業にどんな力をもたらすのか	平成29年	25分	企業は利潤追求という価値観だけでなく、社会にとって責任ある存在であるという立場が求められています。そのために、企業内で人権啓発の必要性が高まっています。 そこで、この作品では企業に働く人々が人権の視点を取り入れて仕事に関わっていくことが企業にどんな力をもたらすかということを、ドラマ形式で事例をとりあげながら考えていきます。

番号	題 名	制作年	時間	内 容
11	"尊重する"から始めよう ～公正採用選考の基本を学ぶ～	平成29年	29分	いま、企業は利潤追求だけでなく、社会にとって責任ある存在であることが求められています。そのものさしとなるのが企業の採用選考活動です。採用選考は短い期間ですが、その一瞬の間に会社と応募者双方の将来がかかっています。 この作品では、採用選考に関わる事例を短く取り上げ、公正な採用選考の基本的な考え方と、その原点である同和問題と人権尊重のこころを学びます。
12	公正な採用選考が企業にも たらすもの	平成30年	25分	企業において、採用選考は会社の未来を描くための大切な業務であり、それを公正に行うことによって良い人材を確保することは、企業の発展に不可欠なことです。採用選考が公正に行われず、予断や偏見により採用担当者が可否の判断を誤ると、かけがえのない人材を永久に失ってしまいます。また、そればかりでなく、採用選考時に応募者の人権をないがしろにすれば、その情報が広く伝播し、会社そのものが信頼を失いかねません。 このDVDでは、公正な採用選考の意義や、公正さをいかに守っていくかなどについて、具体的な事例をふんだんに盛り込み、企業の採用担当者の目線でわかりやすく描くものです。
13	なぜ公正採用選考は基本なの か	平成31年	25分	公正な採用選考をすることは、企業にとって基本であるというテーマで制作した作品です。企業にとって、良い人材を採用し育てていくことは大変重要なことです。採用選考時に公正さを欠くと、適正と能力を兼ね備えた人材を探し出すことができないということになりかねません。また、採用選考の場合は、企業にとって、その企業のあり方を社会に向けて提示する窓になっているという面もあります。フェアな採用選考をすることは、その企業のあり方を社会に向けて表現するという側面につながります。 この作品はある企業を舞台に、人事部の採用担当者たちがさまざまな部署を訪ね、採用選考のための面接のロールプレイを重ねることを描いた作品です。さまざまな部署の多様な意見を受け止め、応募者が質問を受けたときどう感じるのか。不適切な質問とはどういうもので、なぜ、不適切なのか。また、逆に適切な質問とはどのようなものか。そして、そもそも、なぜ公正な選考は基本なのかということに向き合っていく内容です。
14	出会いを豊かなものに ～公正さでのぞむ採用選考～	令和3年	30分	採用選考は、企業にとって、未来を左右するようなどとも大事なものです。採用選考の場を企業と応募者にとっての豊かな出会いの場とすることは、会社にとっても応募者にとっても有益となります。よりよい採用選考のためには、予断や偏見にとらわれず、応募者の適性と能力のみを判断基準とし、応募者の基本的人権を尊重した採用選考を行うことが重要です。 この作品では、公正さなさいよう選考を行うために、どのようなことに気をつければよいか、また、より良い採用選考の方法はどんなものかを、わかりやすく解説するものです。ある架空の企業を舞台に、その企業グループ各社の人事担当者が集まって、より良い採用選考のあり方を考えるという設定で物語が進行していきます。立場や知識の違う多様な担当者が登場しますので、いろいろなお立場の採用担当者の目線で視聴することが可能な作品となっています。
15	想いの“架け橋”になる 公正な採用選考のために	令和3年	28分	採用選考は、応募者と企業の想いを結ぶ“架け橋”と言えます。応募者はいきいきと働けるより良い職場を求め、企業は優秀な人材を採用して思い切り働いてもらいたい。その両者をつなぐ採用選考の場においては、応募者の人権を尊重し、広く門戸を開くことが大切です。また、適性と能力をはかる適切な評価基準をつくることも重要です。 この作品は、人事部に配属された新入社員が、上司のあたたかい指導を受け、同期入社社員と心の交流をしながら、人事部員として採用選考の基本を身に付けていく成長のものがたりです。

番号	題 名	制作年	時間	内 容
16	ともに歩むために ～公正な採用選考の理解と 認識をめざして～	令和4年	28分	この作品は、ある企業の人事職員が採用選考において相次ぐ内定辞退に直面し、さらに就活情報サイトでの批判的な書き込みコメントをきっかけに、自身の会社できちんと公正な採用選考が行われていたのか、人権意識やCSR(企業の社会的責任ある活動)の観点で無意識のつまずきが無かったか、採用プロセスの検証と点検を行っていくことで、改めて公正な採用選考に向き合う物語です。 新たな仲間を探して出会い、互いを知って共に歩むために。そして働く従業員ひとりひとりが、人権意識を持って共に歩むために、公正な採用選考の理解と認識をめざす映像教材です。
17	扉をひらく、未来をひらく ～公正な採用選考～	令和5年	30分	本作品では、初めて採用責任者を務める人事部の主人公を中心に、家族に関する質問を応募者にしてしまった社員、WEB面接時に応募者の部屋について触れてしまった社員など若手から部長、社長まで様々な年代、立場の人物が登場します。 そのような登場人物の失敗事例をドラマ形式で振り返り、「本人に責任のない事項の把握」「本来自由であるべき事項の把握」「採用選考の方法」などをテーマに、「公正な採用選考」についての理解を深めていく映像です。 ※本DVDの内容は、厚生労働省ホームページ公正採用選考特設サイトでも動画を公開しております。 (https://kouseisaiyou.mhlw.go.jp/document.html#video01) 【本編29分/ダイジェスト6分】
18	公正な採用選考をめざして ～共に歩む未来へ～	令和6年	36分	中堅のIT企業で技術部長を務める斉木は、会社の将来を見据え、新卒採用の責任者となる。 採用担当の水本と共に、『公正な採用選考』について学びながら、真摯に採用に向き合うことで、『公正な採用選考』は企業の社会的責任であることを理解していく。 『公正な採用選考』をめざす。すべての人のためのドラマ。
19	未来への責任 ～公正な採用選考～	令和7年	30分	ある中堅規模の食品卸会社では、入社四年目の社員が新卒の採用選考に携わることになっている。その発端は10年前、採用面接での不適切な質問をハローワークから指導されたことがあった。 公正な採用選考が会社の未来につながることを、そしてそれは未来への責任でもあることを同期の三人は少しずつ学んでいく。